

Tobu通信

鳥取県教育委員会事務局
東 部 教 育 局
〒680-0846鳥取市扇町21番地
東教発 H23.11.1 No.108
<http://www.pref.tottori.lg.jp/t-kyoiku/>



こころ・ことば・からだで学び合う

学校の中心に子どもたちがいて、学校・地域・家庭の皆で支え合っていくことを大切にしています。

修立小学校は、先月新校舎・新校庭の竣工式を終え、新しい歴史がスタートしました。学校教育目標を「豊かな心、確かな学力を身につけ、集団の中で意欲的に取り組む子どもの育成」とし、子どもたちの心に寄り添いながら、授業づくりや温かい仲間づくりを進めています。

<子どもたちが学びを楽しむ姿>

学校生活の中で、「わかった、できた」という達成感や「がんばった」という満足感、「自分の発見や発言が役立った」という有用感をもたせる。

鳥取市立修立小学校

新校舎



感じる・考える

表現する

伝え合う

こころが動く



からだを使う



ことばを生み出す



ことばをつむぐ
人間関係をつむぐ

『誇り』を育てる教育活動

『ふるさと』を作曲した岡野貞一、自由律俳句の尾崎放哉の出身校として、資料コーナーを設置し、年間を通して教育活動を行う。夢や希望、志を高くもち、がんばるすばらしさを感じさせる。

- ◇今月の歌で、『岡野貞一の歌でつづる一年間』と題し、朝の会や集会等で歌ったり、地域の方と合唱したりする。
- ◇体感した四季の移り変わりを俳句に表し、掲示し、表現のよさを全校が見合い、言葉で表現する楽しさを感じる。

五感がはたらく環境づくり

校舎新築等で学校を取り巻く環境が変化したこともあり、「学校内に四季を取り戻そう」と様々な取組をしている。季節の移りゆく彩りを感じ取れる心、感覚を豊かな心の一つととらえている。

- ◇校門横の柿の木畑や櫛の木陰、シンボルツリーの銀杏の木など、憩える、和める、木漏れ日のある空間づくりを大切にしたり、委員会活動で緑を増やしたりする活動をする。

心を動かす授業づくり

直接体験を重視し、本物にふれたり、教材のもっているよさを授業に生かしたりすることで、共感や実感を伴った授業を行う。

- ◇理科や生活科では、果樹園や櫛谿公園などの野外に出かけて観察し、見つけたことや感じたことを友だちと交流する。
- ◇地域の人材を活用して、音楽科では我が国の伝統的な音楽「能」や「箏」を体験する学習を行い日本文化を味わう。



学校・地域の特徴を生かし、心を動かす学校教育を展開していくことは、子どもたちに学ぶことの楽しさやおもしろさを実感させます。そして、「子どもたちの心にここで育ったという『誇り』を育む」ことにつながります。



いつもフレッシュでありたい

局長 久岡 賀代子

先日、私の恩師で70代に入っても教育の道で活躍しておられる方にお会いしました。その方は、まわりに元気を与えてくれるようなフレッシュさと、実年齢を感じさせない素敵な方です。いつも笑顔で「やる気」を示し、自ら動き、志を持ち続けておられるのです。子どもに力をつけるための研究を絶えず行われ、そして、「毎月10冊以上の読書は欠かさない。」とも言われていました。

世の中には、老境に入ったかのような感じのする若い方も見受けられます。フレッシュさとは年齢の若さではなく、志を持ち続けて、新しいことに挑戦することだと思えます。

このフレッシュさは、教師に求められる姿です。このような姿は、全て教師の『子どもを成長させる』というやる気から生じるものだからです。

「子どもを変える」ために、教育者自身がやる気を示し、いつもフレッシュでありたいと考えます。そうすることで、子どもたちも成長し、それが「学校を変える」ことにつながっていきます。



子どもたちの未来を拓くための「つなぐ、つながる」教育の実現をめざして

スクラム教育



スクラム勉強会

本年度から、鳥取県教育委員会では、子どもたちの学力向上を推進するため、幼稚園・保育所、小・中学校、高校などの学校種の枠を超えた一貫性のある取組（スクラム教育）を進めています。県内6地域（「タワー地域」と呼びます。）に、推進役となる教員を配置して、先進的に取り組んでいます。東部地区では、「八頭タワー」と「岩美タワー」の2地域で、地域の実態を生かしながら学校相互の連携をより一層進め、スクラム教育を推進しています。

八頭タワーの取組

- 【組織】 八頭高校
中央中・八東中・船岡中の各中学校区
毎月1回 **スクラムリーダー会**の開催
- 【出席者】 スクラム担当教諭
3中学校教務主任、八頭町教委、県教委

【テーマ】「いきいきやずっこを育む中高連携の在り方」
～学力向上と授業力の向上をめざして～

スクラムリーダー会では、従来の取組を見直し・改善をしながら、共通する課題の解決に向けて協議する。



高校の先生が出前授業

八頭町 スクラム勉強教室

中央中の3年生対象の夏休み勉強会に八頭高生徒が参加した。3日間でのべ44名の高校生が参加し、中学生に学習指導したり、受験体験や高校生活を語ったりした。

中学生は目標を新たにし、高校生は有用感のある時間となった。

小・高（八頭高体育コース） 連携事業

八頭高体育コースの生徒が郡家東小と郡家西小に出かけ、体力測定（ｽﾎｰﾂﾃｽﾄ）の計測協力や模範演技をし、給食交流をした。

「高校生の手本をみて、小学生の意欲が増した」など、事後のアンケートでは、小学生・高校生・教員とも満足度は高かった。

小・中・高 連携授業研究会

これまでも開催されてきた小中合同授業研究会に、八頭高の教員にも参加を呼びかけた。授業参観だけでなく、教科別部会に参加した高校の教員から「小学校の授業を久々に見て、授業の流れなどとても刺激を受け、事後研も参考になった」といった感想があり、多くの参加者が異校種を知る大切さを感じた。

八頭町 中・高 連絡会

八頭町内3中学校と八頭高校の教員で組織される教科別連絡会を英数2教科で開催し、本年度の高校1年生の実力テストをもとに教材や指導について研究協議を行った。これを受けて八頭町中高交流授業（出前講座）も船岡中で実施した。

今後の取組「八頭高ライフ体験」

中央中2年生全員が八頭高へ出かけ、高校生活を体験する予定。

スクラム教育推進フォーラム

- 期日 平成23年11月17日（木）
時間 13:30～16:40
会場 ハワイアロハホール
内容・6タワー地域の取組を映像で紹介
・スクラム教育の展望をテーマにパネルディスカッション等を予定

八頭タワーでは、県立高校と町教委が連携の可能性を探しながら、校種を超えた交流の機会を設定し、意欲と活力ある「いきいきやずっこ」の育成をめざしています。中学生が将来に希望を持ち、高校生が自己有用感を高めるような連携が期待されます。

学事コーナー

ちよつと確認

学校に配備されている携帯電話について

現在、東部地区では約7割の小・中学校に公用携帯電話が備えられています。（3割の学校は不要により返却されています。）これは、平成16年4月15日付鳥取県教育長通知「県費負担教職員に係る旅行雑費の廃止及び廃止に伴う携帯電話の配備について」により、旅行雑費の支給が廃止され、その代替措置として各学校へ配備されたものです。その使用目的は、主に校外学習などの児童引率や管理職等の出張に係る緊急連絡用です。



【お願い】

- ① 携帯電話の管理者（校長又は教頭）は、常に細心の注意を払って携帯電話を管理し、活用してください。
- ② 携帯電話の使用は、旅行業務に関するものに限り、私用の通信等には使わないでください。
- ③ 携帯電話が不要となる場合は、東部教育局 学事係 にご連絡ください。